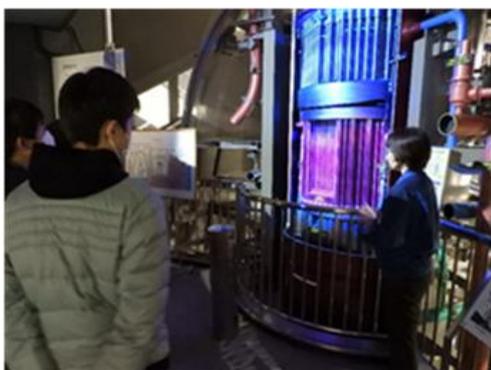


## サイエンスツアーⅡ 柏崎刈羽原子力発電見学所！

12月27日（火）に2学年理系2コースの生徒29名が、サイエンスツアーⅡとして柏崎刈羽原子力発電所に訪問し、施設見学をさせていただきました。見学前には原子力発電のしくみや施設内の設備、柏崎刈羽原子力発電所の歴史や東北大震災における福島原発事故の概要と今後の東京電力の取り組みなどの話を聴かせていただきました。原子炉の模型を使った原子力発電の説明や、トラブル発生時に備えた訓練の様子のビデオを見て、原子力施設の安全性の確保などについて、理解を深めることができました。説明の後には、柏崎刈羽原子力発電所の立ち入り制限区域に入る許可を頂くことができ、立ち入り制限区域内の原子炉周辺の様子や海側の波対策のための設備、冷却水用の貯水池、特別配置車両などを見ることができました。

参加した生徒にとっても、原子力発電の危険性や有用性について改めて考える機会になりました。

### 原子炉内の様子の模型を見て理解



放射性物質のウランを利用した発電のしくみや、原子炉の構造、発電を始めた後停止させる時の原子炉内の動きを理解した。

### 管理室のモニターや訓練の映像を見て理解



施設では災害や機械の故障などの異常事態に対応するための訓練とその振り返りと反省を欠かさない。安全対策に取り組んでいることを学んだ。

### 原子炉の模型は1/5スケール。上から覗き込める。



1cm四方のウランペレット1つで4大家族8~9ヶ月分の電力を発電できる。事故は怖いですが、その発電効率の良さを知った。

### 施設の歴史などの説明を聴講。見学後の質疑応答も。



施設職員の方から施設建設の経緯、原子力発電の概要などを説明して頂いた。施設見学後には生徒からの質問に丁寧に回答して頂いた。

## 見学後の生徒の感想

- ・原発のしくみについて、絵などで学んで知っていたが、模型などを見てより深く知ることができた。
- ・今回特に印象に残っていたのは安全対策に関してです。制限区域に入るときに証明票の確認やバス内など入念に調べたり、海からの波や逆流に対する対策がなされていた。
- ・世界一の原発があるために不安はありましたが、様々な対策がされていたので、不安が軽減しました。
- ・柏崎刈羽原子力発電所は事故を防ぐための取り組みが数多く為されているが十分かどうかはわからない。自らの生活にも関わるため、今回の見学を機にもっと関心を持ちたい。